

真駒内滝野霊園拡張事業事後調査(平成21年度分)の概要

1 事後調査スケジュール

調査項目		調査年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	
大気	騒音(自動車の走行に伴う)	交通量調査					H24へ 延期 3			延期
	騒音(建築機械の稼働に伴う) (追加項目) 1	予測計算、騒音調査					追加	追加		
鳥類	ハイタカ	モニタリング調査					H23へ 延期 3		延期	
	クマガラ	モニタリング調査								
	オオタカ (追加項目) 2	モニタリング調査				追加	追加			
		生息環境調査					追加	追加	追加	
植物	アカミナルイヨウショウマ	移植モニタリング調査								
	フタバラン	移植モニタリング調査				追加	追加			
水環境	水質調査	山部川水質調査								
	エゾサンショウウオ	生育状況調査 (踏査)								
	ニホンザリガニ	生育状況調査 (踏査)								
森林管理		長期管理計画の進捗状況 モニタリング調査(H23)								
景観		滝野すずらん丘陵公園展望 台からの眺望				H22へ 延期 4			延期	延期
交通問題		混雑状況調査								

今回報告分

- 1・・・2工区の計画変更に伴い、防災調整池の位置が周辺住居に近づくため。
- 2・・・平成19年度に事業実施区域内での営巣を確認したため。
- 3・・・2工区の切盛運土をH23に変更したため。
(騒音については、供用後に調査を行う。)
(ハイタカについては、切盛運土を行う年の繁殖期前期に調査を行う。)
- 4・・・植栽時期が変更されたため。

2 事後調査概要

項 目		目 的	方 法	時 期	結 果 (保全措置)	報告書 ページ	
鳥類	1	クマガワのモニタリング調査	営巣状況の確認	営巣可能木のあったトドマツ人工林を主体とした定点調査及び踏査	平成21年3月～8月(計6回)	繁殖:確認なし 個体:16件確認 採餌木:8本確認 営巣可能木は平成18年の倒木以来、新たなものは未発見 (保全措置) 営巣可能環境の創出(間伐、下枝払い)	P13～15 (補足資料1-1、1-2) P44
	2	水質調査(pH,SS,BOD,DO,大腸菌群数)	浄化槽放流水の山部川への影響把握	日本工業規格他	平成21年8月14日	大腸菌群数以外は環境基準(A類型)に適合 浄化槽では塩素滅菌処理を行っているため、大腸菌群数の高さについては、調査地点流域の他からの流入があるものと推察される	P16～19
森林管理	3	長期管理計画書に基づく森林管理の進捗状況	潜在植生への転換を促す	間伐	平成21年12月	カラマツ人工林等で主に弱度の間伐等を実施 今回の間伐対象木は、平成18年3月と12月、平成20年2月、平成21年1月に選木を行ったもの	P20～22
交通問題	4	混雑状況調査	交通渋滞対応計画への反映	墓参車両台数観測	平成21年8月8日～16日	墓参日、墓参時間帯の分散化傾向	P23～29
				渋滞状況調査	平成21年8月13日～16日	アクセス道路の渋滞なし 園内でお昼頃に10分程度の混雑が認められたのみ	
追加事後調査	5	フタバランの移植モニタリング調査	移植後の活着や生育状況の確認	1株ずつ生育の有無、開花の状況等を記録	平成21年6月15日	313株移植(H17.10) 29株(9%)が生育(うち開花結実13株)し、平成18～21年の4年間に1度でも生育した個体は126株(40%)	P30 (補足資料1-3、1-4)
	6	オオタカモニタリング調査	営巣状況の確認	平成19年度及び20年度の営巣林を対象とした定点調査及び踏査	平成21年4月～7月(計4回)	繁殖:確認なし 飛翔:計9回確認	P31 (補足資料1-5)
	7	オオタカ営巣木周辺環境調査	営巣可能な環境の把握	平成19年度及び20年度の営巣木周辺の環境を記録	平成21年12月11日	平均樹高:17.5m 平均胸高直径:18.2cm 立木密度:1560.5本/ha	P32～33 (補足資料1-6)
	8	オオタカ代替営巣木環境調査	代替営巣木候補の抽出	残地森林内における踏査	平成21年12月11日	カラマツ林内等において、計6箇所代替営巣木候補を抽出 (保全措置) 代替営巣木候補周辺環境の保全	P34～38 P45～46
	9	建設機械の稼働に伴う騒音	環境保全措置の必要性の検討	予測計算	平成22年3月	予測地点の一部で環境基準(A類型、昼間:55dB)を超えると予測 (保全措置) 防音シートの設置	P39～43 P47～48